

エネクス株主通信



社会とくらしのパートナー

伊藤忠エネクス株式会社

証券コード 8133

第58期中間期事業のご報告 2017年4月1日から2017年9月30日まで

Contents

| | | |
|----|--------------------------------------|---|
| 特集 | 関東・中部・関西のLPG販売事業を統合 「エネアーク、はじまる。」 | 1 |
| | トップメッセージ | 3 |
| | 中期経営計画の進捗について | 5 |
| | セグメント別情報 | 7 |
| | 連結財務諸表 | 9 |

| | | |
|--|--------------|----|
| | トピック | 10 |
| | 株主様アンケート調査結果 | 11 |
| | 教えて エネクス! | 12 |
| | 会社概要／株式の状況 | 13 |
| | 株主の皆様へのお知らせ | 14 |

関東・中部・関西のLPG販売事業を統合

「エネアーク、はじまる。」



Group of 大阪ガス & 伊藤忠エネクス

当社は、大阪ガス株式会社(以下:大阪ガス)と共同出資し、合併会社「株式会社エネアーク」を設立いたしました。関東・中部・関西地域におけるLPGの卸売・小売事業を統合することで、これまで以上に質の高いサービスを生み出し、社会の豊かなくらしと新たな価値を提供してまいります。

新会社設立の背景

日本国内におけるLPG業界は、人口や世帯数の減少、さらにエネルギー自由化に伴う顧客獲得競争の激化などにより需要の伸び悩みがみられます。この厳しい経営状況下においては早急な「事業基盤の拡大」と「コスト競争力強化による生産性の向上」が求められています。

当社はこれらに対応すべく、確かな経営基盤を持つ大阪ガスと連携し、新会社を設立することを決定いたしました。経営資源を集中し、それぞれが持っている強みやノウハウを共有することで、より高品質で競争力のある商材・サービスをご提供してまいります。

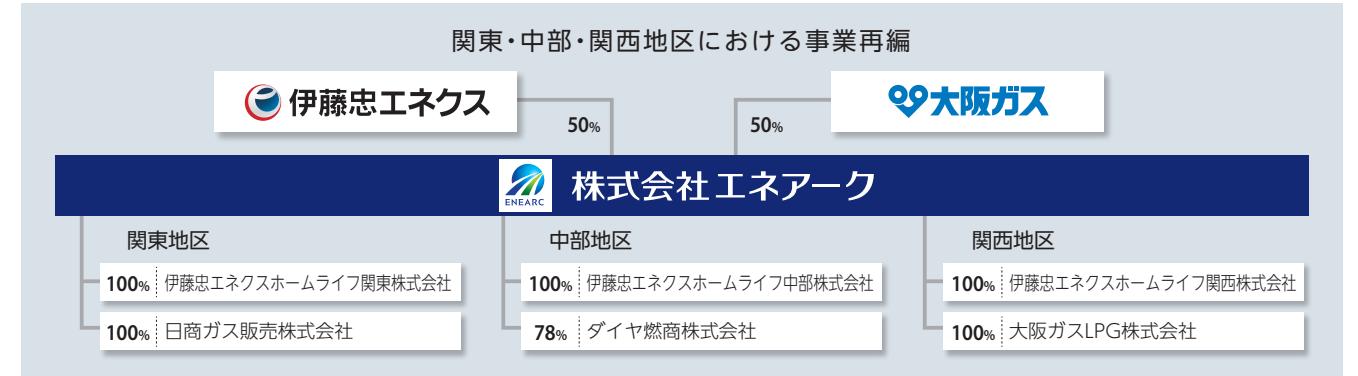


株式会社エネアーク
代表取締役社長
糸山 正明



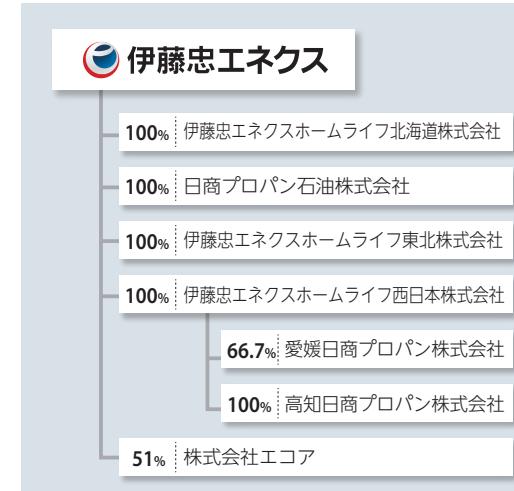
株式会社エネアーク
代表取締役副社長
澤田 公一

株式会社エネアークについて



株式会社エネアークは、当社と大阪ガスが50%ずつ出資する合併会社です。両社のLPG販売会社6社(エネクス傘下の3社:伊藤忠エネクスホームライフ関東株式会社、伊藤忠エネクスホームライフ中部株式会社、伊藤忠エネクスホームライフ関西株式会社、大阪ガス傘下の3社:日商ガス販売株式会社、ダイヤ燃商株式会社、大阪ガスLPG株式会社)の株式を保有し、今後1年以内に販売会社の地域ごとの統合を進めます。また、新たな事業パートナーとの提携を行うなど、さらなる成長を目指します。

その他地域における事業再編



また、同じタイミングで大阪ガス子会社である日商LPガス株式会社が保有するLPガス販売会社3社を当社グループに合流、事業の再編を行いました。日商プロパン石油株式会社は当社に、愛媛日商プロパン株式会社と高知日商プロパン株式会社は当社子会社の伊藤忠エネクスホームライフ西日本株式会社にそれぞれ株式の譲渡が行われました。

各社の保有比率は、日商プロパン石油株式会社は100%、愛媛日商プロパン株式会社は66.7%、高知日商プロパン株式会社は100%となります。

| | |
|------|------------------------------|
| 社名 | 株式会社エネアーク |
| 設立 | 2017年10月1日 |
| 資本金 | 10.4億円 |
| 株主 | 大阪ガス株式会社50% / 伊藤忠エネクス株式会社50% |
| 事業内容 | 関東・中部・関西地区のLPG販売会社の経営統括 |

つなぐ 未来

平素よりエネクスグループにご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様もご実感のとおり、近年社会や暮らしの変化のスピードはますます速まり、様々な分野において新たな時代へと動き始めています。エネルギーの分野でも元売の再編をはじめ構造的な変化の波が押し寄せているのはご承知のとおりです。

こうした中、当社グループでは2014年度より「Moving!」をキーワードに過去の実績や成功体験にとらわれることなく、新たな未来を開拓し、さらなる成長の実現に向けた取り組みを進めております。

そして今年度、2か年の新中期経営計画「Moving2018 つなぐ 未来」をスタートしました。この2か年を「未来への布石」の期間と捉え、2016年度に達成した当期純利益100億円台を定着させ、次なる飛躍へのステップにしたいと考えております。

新中期経営計画のテーマは、石油・ガス・電力といったコア事業のさらなる成長と、環境ビジネス及び海外事業展開の開拓・深耕です。このような取り組みを通じ、地域の皆様に必要とされる、社会や暮らしを豊かにする会社を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては引き続き当社へのご支援を宜しくお願い申し上げます。



伊藤忠エネクス株式会社
代表取締役社長 園田賢二

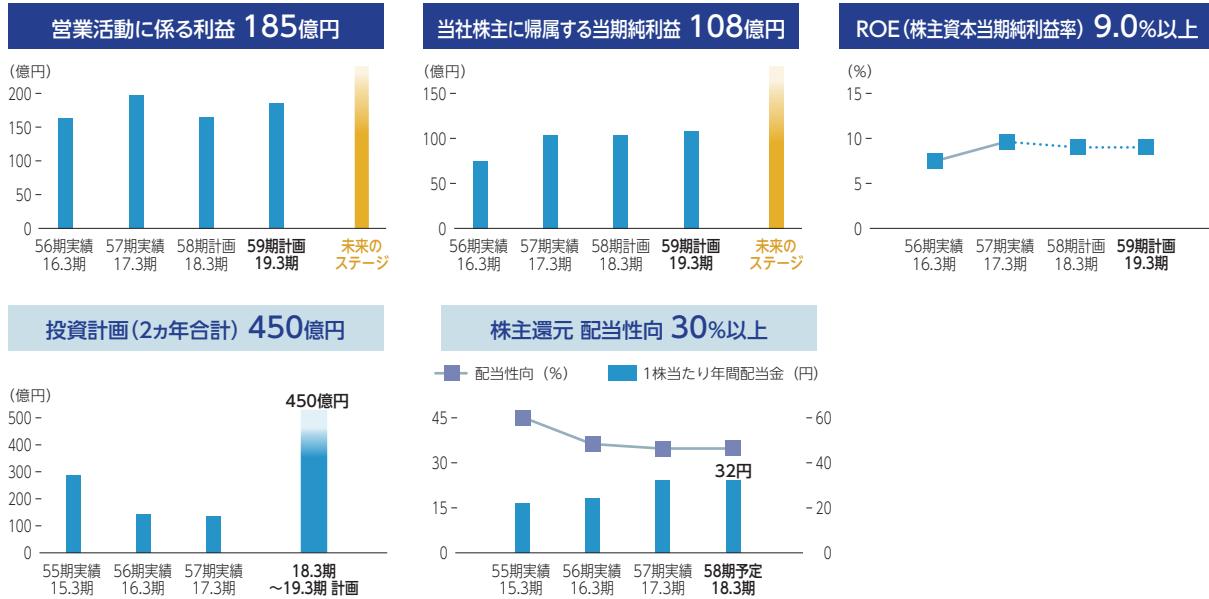
■ 計画名称



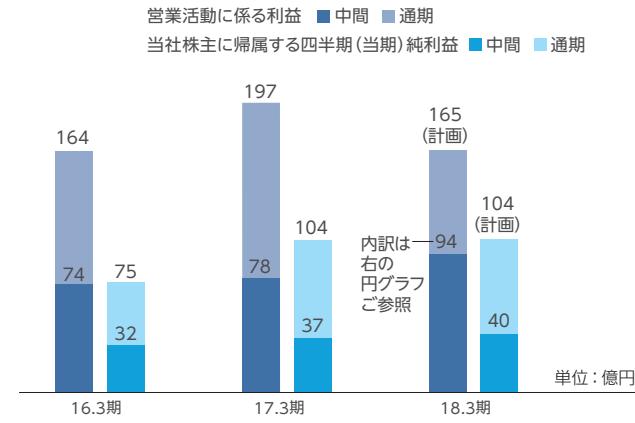
■ 基本方針

| | | | |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-------------------------|
| 『未来の成長に、つなぐ』 ～収益基盤の再構築～ | | 『グループの人や機能を、つなぐ』 ～組織基盤の再整備～ | |
| 資産の最適化 | 収益性・成長性を追求した資産入替の加速 | 組織力の強化 | グループ経営の基盤整備により組織力を強める |
| 収益力の向上 | 売上総利益経費率を指標に収益効率を高める | 自律型人材育成 | ミッションを明確にし、自律型人材を育てる |
| 顧客基盤の開拓 | 電力ビジネスを横展開させ、未来小売志向で顧客基盤を拡大 | ENEX EARLY BIRD | 短時間で高パフォーマンスを発揮する働き方を推進 |

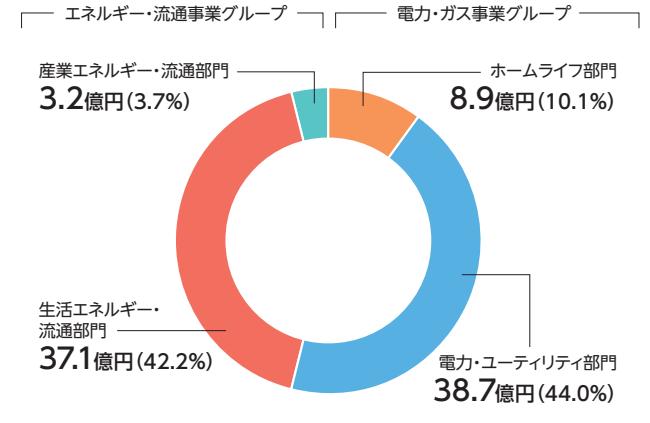
■ 定量計画 (2019年3月期)



業績の推移



セグメント別営業利益 (18.3中間期末実績94億円の内訳)



(注) 当社は国際会計基準(IFRS)に基づき連結財務諸表を作成しております。

新たな中期経営計画を着実な一歩でスタート

石油流通業界におきましては、少子高齢化や自動車の低燃費化などの影響により恒常的な需要減少が継続しており、また原油価格の先行きも不透明な状況が続いております。

電力業界におきましては、昨年度より自由化された低圧分野を含め、新電力事業者が徐々にシェアを拡大しつつありますが、事業者間の競争激化や電力大手の原発再稼働の問題など、先行きは不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは本年4月に2カ年の中期経営計画『Moving2018 つなぐ 未来』を公表し、左頁の基本方針に基づき、事業を推進しております。

その取り組みの一環として、本年4月に事業部門の組織改編を行い、従来の「カーライフ部門」と「エネルギーイノベーション部門」の産業用燃料販売事業などを統合し、「生活エネルギー・流通部門」へ、また従来の「エネルギーイノベーション部門」を「産業エネルギー・流通部門」へと改編しました。石油需要減退に伴い業界再編を始めとする統廃合が進む中、石油販売事業を地域組織のレベルから融合させ、「最終消費者」にサービス・商品・資材などあらゆるものを提供する組織を目指してまいります。

このような活動の結果、売上収益は3,523億9千5百万円(前年同期比13.9%の増加)、営業活動に係る利益は94億2千1百万円(前年同期比21.5%の増加)、当社株主に帰属する四半期純利益は39億6千9百万円(前年同期比7.1%の増加)となりました。

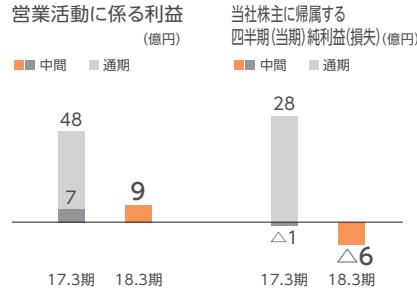


電力・ガス事業グループ

ホームライフ部門

主な取扱商品・サービス

- ・LPガス
- ・灯油
- ・都市ガス(大分県中津市)
- ・産業用ガス
- ・電力
- ・生活関連機器
- ・スマートエネルギー機器
- ・リフォーム
- ・家庭用リチウムイオン蓄電システム
- ・ガス容器耐圧検査サービス
- ・溶接用資材



グループ全体の営業利益に占める当部門の割合 **10.1%** (18.3 中間期実績)

当中間期の概況と取り組み

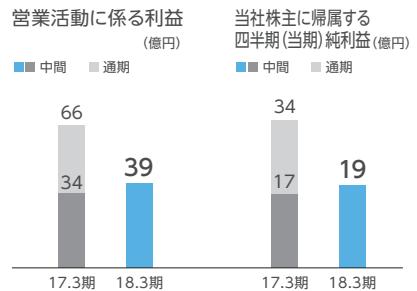
当事業部門では、LPガス直売顧客軒数が前期より若干減少しましたが、販売数量は前年同期を上回りました。損益面におきましては、LPガス輸入価格下落の影響による利幅の圧縮があったものの、新たな収益基盤である電気事業と堅調な機器販売が貢献し、営業活動に係る利益は前年同期を上回りました。家庭向け電力販売につきましても、LPガスとのセット販売を推進しており、当第2四半期連結会計期間末の顧客軒数は約42,000軒となりました。海外事業におきましては、インドネシアにおける工業ガス販売事業、またフィリピンにおけるLPガス販売事業共に堅調に顧客基盤を拡大してきており、今後も拡大路線を継続してまいります。

また、ガス販売におけるグループ、販売会社などの一連の再編における一部損失を本年9月に計上したことにより、当社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を下回りました。

電力・ユーティリティ部門

主な取扱商品・サービス

- ・電力
 - 石炭火力発電所
 - 天然ガス火力発電所
 - 風力発電所
 - 水力発電所
 - 太陽光発電所
- ・蒸気
- ・地域熱供給サービス
- ・総合エネルギーサービス
- ・電熱供給サービス
- ・電力需給管理サービス



グループ全体の営業利益に占める当部門の割合 **44.0%** (18.3 中間期実績)

当中間期の概況と取り組み

当事業部門では、電力事業にて当社及び王子・伊藤忠エネクス電力販売(株)を中心に、電力販売量・損益ともに前年同期を大きく上回りました。法人向け並びに家庭向け販売の伸長、電力需給機能の強化及び電力販売・需給間の相互連携強化が、主な要因であります。

熱供給事業^{*1}では、本年4月より供給を開始した「GINZA SIX」の貢献もあり、熱販売量は前年同期を上回りましたが、損益面では夏場の平均気温が前年を下回ったことが影響し、前年同期を若干下回りました。

一方、将来への取り組みとして、発電・開発分野では、環境負荷の低減及び電源ポートフォリオの充実を目指し、再生可能エネルギーを中心に、新たな電源の開拓やビジネスモデル化を検討中です。また、販売分野においては、(株)エネクスライフサービスを中心に、強い顧客基盤を持つ異業種企業と連携し、家庭・小規模法人向けの新たな価値提案の検討を推進中です。

^{*1} 熱供給事業とは、熱源プラントから複数の建物、オフィスビル等に、冷房・暖房等に使用する冷水・温水を導管で供給する事業です。

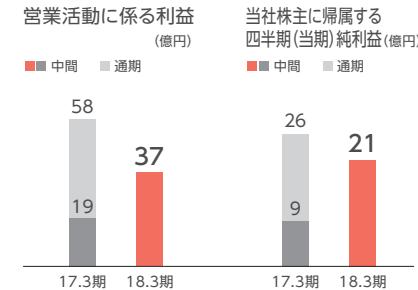
エネルギー・流通事業グループ



生活エネルギー・流通部門

主な取扱商品・サービス

- ・ガソリン/灯油/軽油/重油/LNG/電力
- ・自動車用潤滑油
- ・自動車・自動車用品/車検・整備・钣金
- ・洗車機用商材
- ・レンタカーシステム
- ・楽天ポイントカード
- ・カーエネクスitsumoカード
- ・パートナーズカード
- ・高品位尿素水 AdBlue
- ・燃料給油カード
- ・CS向けPOSシステム(E3/E6)
- ・CS戦略情報システム



グループ全体の営業利益に占める当部門の割合 **42.2%** (18.3 中間期実績)

当中間期の概況と取り組み

当事業部門では、販売数量、損益共に前年同期を上回る結果となりました。本年度よりカーライフ・ステーション(以下:CS)関連事業と産業用燃料、アドブルー^{*2}、法人向け電力販売などの事業を統合し、生活エネルギー・流通部門へと組織体制を一新いたしました。お客様のニーズにお応えるため、多様な商材を包括的に提案しております。

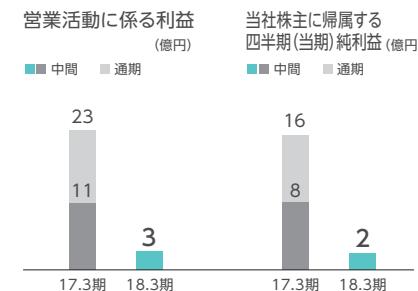
アドブルー販売事業では全国15カ所の提携工場と20カ所の供給施設を配置し、生産から供給まで一貫した販売体制の構築を推進しております。CS関連事業におきましては、継続して新型POSの導入を促進し、共通ポイントを介してお客様の相互送客を実現。車関連事業では本年4月よりエネクスオート(株)において、「カースタレンタカー」を展開、運営を開始しております。また、日産大阪販売(株)の今中間期の販売台数は前年同期を大幅に上回りました。

^{*2} アドブルー(AdBlue)とは、ディーゼル車の排気ガス中の窒素化合物(NOx)を無害化する「SCRシステム」に使われる高品位尿素水です。

産業エネルギー・流通部門

主な取扱商品・サービス

- ・アスファルト
- ・石油貯蔵施設等のロジスティクス機能
- ・貯蔵及び供給のターミナル機能
- ・船舶用燃料
- ・船舶用潤滑油
- ・石油製品輸出入
- ・国内需給調整取引
- ・石炭灰リサイクル
- ・船舶のスロップ・スラッジの回収・リサイクル



グループ全体の営業利益に占める当部門の割合 **3.7%** (18.3 中間期実績)

当中間期の概況と取り組み

当事業部門はエネルギーイノベーション部門とカーライフ部門との組織改編により、アスファルト販売事業、船舶燃料販売事業、石油製品トレード事業、ターミナル事業の4事業を主軸とした部門となりました。それぞれが専門性の高い事業を担う部門として、各事業におけるバリューチェーンの高度化・最適化、さらには様々なネットワークを活かした取引の拡大を進めることで、安定した事業基盤の構築を進めております。

船舶燃料販売事業では、本年7月に博多港へ配備する配給船を新造し、全国で7隻の国内配給船体制を構築しました。また、新たな事業基盤の構築として環境リサイクル関連事業にも注力しています。フライアッシュ事業^{*3}では「カノウエフエイ(株)」を設立。船舶から回収される廃油をリサイクルし再生油として販売するスロップ・再生油事業も、実績を重ね事業拡大に向け着実に推進しております。

^{*3} フライアッシュ事業とはフライアッシュ(石炭火力発電所から排出される石炭灰の一つ)を回収・処理し、アスファルト舗装工事の路盤材等の原料に再利用する事業です。

当社グループの第58期中間期(2017年度第2四半期)業績と財務状況をご報告します。

四半期連結財政状態計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期末 (2017年9月30日) | 前期末 (2017年3月31日) |
|-------------|-------------------------|---------------------|
| 流動資産 | 176,111 | 178,127 |
| 非流動資産 | 158,054 | 166,476 |
| 資産合計 | 334,165 | 344,603 |
| 流動負債 | 133,054 | 143,751 |
| 非流動負債 | 70,963 | 73,375 |
| 負債合計 | 204,017 | 217,126 |
| 資本金 | 19,878 | 19,878 |
| 資本剰余金 | 18,740 | 18,740 |
| 利益剰余金 | 75,180 | 73,300 |
| その他の資本の構成要素 | △1,339 | △1,655 |
| 自己株式 | △1,873 | △1,752 |
| 株主資本 | 110,586 | 108,511 |
| 非支配持分 | 19,562 | 18,966 |
| 資本合計 | 130,148 | 127,477 |
| 負債及び資本合計 | 334,165 | 344,603 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期累計 (2017年4月1日～ 2017年9月30日) | 前第2四半期累計 (2016年4月1日～ 2016年9月30日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,957 | 3,708 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △8,971 | △9,317 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △5,924 | 2,261 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △4,939 | △3,348 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 22,727 | 20,824 |
| 為替相場の変動による現金及び現金同等物への影響額 | 9 | △70 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 17,797 | 17,406 |

四半期連結包括利益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期累計 (2017年4月1日～ 2017年9月30日) | 前第2四半期累計 (2016年4月1日～ 2016年9月30日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高* | 507,990 | 466,313 |
| 売上収益 | 352,395 | 309,516 |
| 売上原価 | △308,202 | △265,774 |
| 売上総利益 | 44,193 | 43,742 |
| その他の収益及び費用 | △34,772 | △35,987 |
| 営業活動に係る利益 | 9,421 | 7,755 |
| 金融収益及び金融費用 | △296 | △207 |
| 持分法による投資損益 | △843 | △306 |
| 税引前四半期利益 | 8,282 | 7,242 |
| 法人所得税費用 | △3,102 | △2,560 |
| 四半期純利益 | 5,180 | 4,682 |
| 当社株主に帰属する四半期純利益 | 3,969 | 3,707 |
| 非支配持分に帰属する四半期純利益 | 1,211 | 975 |
| その他の包括利益(税効果控除後) | 316 | △482 |
| 四半期包括利益 | 5,496 | 4,200 |
| 当社株主に帰属する四半期包括利益 | 4,285 | 3,225 |
| 非支配持分に帰属する四半期包括利益 | 1,211 | 975 |

*「売上高」は、日本の会計慣行によるものであり、当社及び当社の連結子会社が契約当事者として行った取引額及び代理人等として関与した取引額の合計であります。



「ENEX EARLY BIRD」
当社の働き方改革の
総称・シンボルマークです。

より働きやすい会社を目指して

～「ENEX EARLY BIRD」の具体的な取り組み～

当社は、「より良い会社」「働きがいのある会社」「家族・社会に誇れる会社」の実現に向けて、昨年度より働き方改革「ENEX EARLY BIRD」をスタートさせました。より働きやすい会社を目指し、様々な取り組みを進めています。

健康的な身体づくりを 会社をあげてサポート

「ENEX EARLY BIRD」で取り組むテーマの一つに「健康増進」があります。当社では、健康的な身体づくりへの様々なサポートプログラムを実施。一人ではなかなか進みにくい健康的な身体づくりにも会社をあげて支援してまいります。

- 「禁煙アプリ」の導入
- ライザップ社の法人会員
- 社内スポーツの活動支援

など



スポーツに取り組む社員に、活動費の一部を会社で補助。身体づくりだけでなく、コミュニケーションの質向上にもつながります。

「健康経営優良法人2017」に 認定されました



当社は経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2017 大規模法人部門(ホワイト500)」に認定されました。働き方改革の取り組みが高い評価を受け、認定基準でも業種平均を上回ったことなどによります。今後も取り組みを推進し、社員の持つ能力を最大限に引き出しながら、会社の中長期的な成長を両立させてまいります。

「カジュアルデー」導入

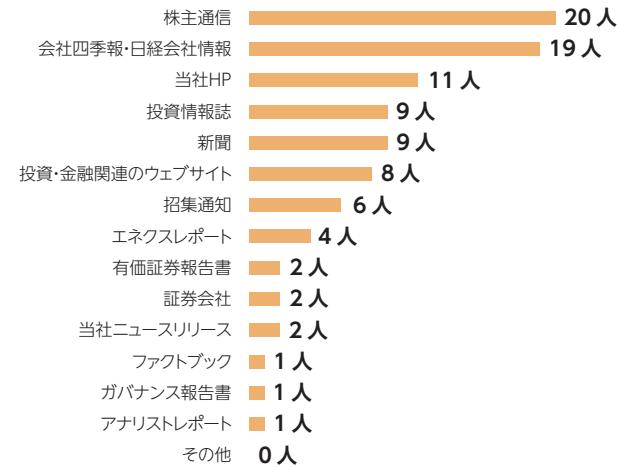
当社は、毎週金曜日にカジュアルな服装で出社する「カジュアルデー」をスタートさせました。働き方改革の一環として、カジュアルな服装で仕事をするという新しい働き方を取り入れることにより、社員一人ひとりが柔軟な発想を生み出せる風土を醸成することを目的としております。



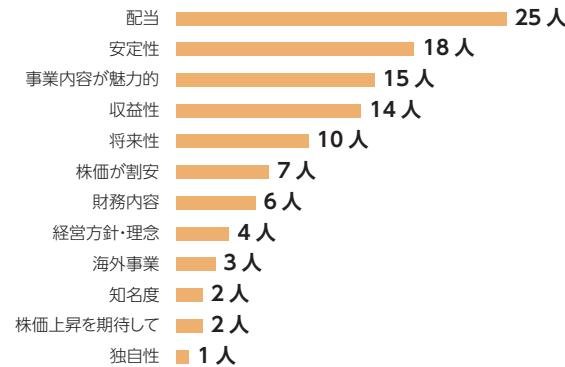
株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

昨年の中間報告書の際にお願いいたしましたアンケートの集計結果についてご報告申し上げます。
ご回答いただきました株主の皆様、ご協力ありがとうございました。
当社は、今後も定期的に株主様アンケートを実施し、得られた調査結果を貴重なご意見として、今後の活動へ反映させてまいります。

Q 当社についての情報入手方法についてお聞かせください。(複数回答可)



Q 当社の株を取得した理由をお聞かせください。(複数回答可)



Q 当社のイメージについてお聞かせください。(複数回答可)



引き続きアンケートにご協力ください

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **8133**

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヵ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」 | TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
MAIL: info@e-kabunushi.com

Q LPガスについて詳しく教えてください。

A LPガスは私たちの生活に欠かせないエネルギーであり、ご家庭や街のあらゆる施設で厨房・給湯・暖房用の燃料として、またタクシーを中心に自動車用燃料として、さらに工業用燃料としても利用され、幅広く普及しています。



■ LPガスの4つの特長

- 環境にやさしい**
LPガスは、化石燃料の中でもCO₂排出量が少ないクリーンエネルギー。高効率機器を合わせて使用すればさらに環境性は高まります。
- 高い可搬性**
液化して容器に充填すればどこにでも運ぶことができるため、離島や山間部における重要なエネルギー源です。
- 災害に強い**
個別に供給可能な分散型エネルギーなので、災害発生時にガスの供給が遮断されても個別に調査・点検すれば都市ガスや系統電力に比べ早い復旧が可能。
- 安定供給体制が整っている**
LPガスの供給ネットワークは、平時はもちろん、災害時においても全国津々浦々まで着実にLPガスを供給できるよう、国家備蓄基地、輸入基地、充填所などの供給拠点が合理的に設計されています。

■ LPガスと都市ガスの主な違い

| | LPガス | 都市ガス |
|------|-----------------------------|-------------------------------|
| 原料 | プロパン・ブタンを主成分に持つ液化石油ガス (LPG) | メタンを主成分に持つ天然ガス (液化天然ガス (LNG)) |
| 性質 | 空気より重い | 空気より軽い |
| 供給方法 | ボンベに入れて事業者が配送 | 道路の下のガス管から |

(出所:一般社団法人日本ガス協会)

Q ガス料金の決め方について教えてください。

A LPガスは石油と同様に海外からの輸入に大きく依存しており、主要輸出国であるサウジアラビアなどの産ガス国が毎月決定する輸出価格(CP価格)や為替レートなどにより価格が変動します。この輸入原料価格を適切にガス料金に反映させ、料金の透明性を高めるために設けられたのが「原料費調整制度」です。エネクスグループのLPガス販売会社も導入しており、これに基づいてガス料金が決まっています。

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金} + (\text{基準原料価格} \pm \text{原料変動価格差}) \times \text{ガス使用量}$$



LPガスや電気を使ってTポイントが貯まる!詳しくは「エネクス Tポイント」で検索 <https://www.enexhl.jp/>

| | |
|------------------------|---------------------------------------|
| 会社名 | 伊藤忠エネクス株式会社 |
| 英文社名 | ITOCHU ENEX CO.,LTD. |
| ホームページ | http://www.itcenex.com |
| 本社所在地 | 〒105-8430 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 |
| 設立年月日 | 1961年(昭和36年)1月28日 |
| 資本金 | 198億7,767万円 |
| 従業員数 (2017年3月31日現在) | 単体 642名(関係会社への出向者132名含む) 連結 5,958名 |

■ 主なグループ会社 (2017年10月1日現在)

| | |
|------------------------|-------------------------------|
| (株)エネアーク | 王子・伊藤忠エネクス電力販売(株) |
| 伊藤忠エネクスホームライフ北海道(株) | (株)エネクスライフサービス |
| 日商プロパン石油(株) | 小倉興産エネルギー(株) |
| 伊藤忠エネクスホームライフ東北(株) | エネクスフリート(株) |
| 伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株) | エネクスオート(株) |
| (株)エコア | (株)東北タンク商会 |
| 伊藤忠工業ガス(株) | エネクス石油販売東日本(株) |
| PT. ITC ENEX INDONESIA | エネクス石油販売西日本(株) |
| エネクス電力(株) | (株)九州エナジー |
| 東京都市サービス(株) | 日産大阪販売(株) (大阪カーライフグループ(株)) |

■ 役員 (2017年10月11日現在)

| | | | |
|--------------|----------------|--------------|--------------|
| 代表取締役社長 | 代表取締役(兼)専務執行役員 | 取締役(兼)専務執行役員 | 取締役(兼)専務執行役員 |
| 岡田 賢二 | 糸山 正明 | 長尾 達之介 | 高坂 正彦 |
| 取締役(兼)常務執行役員 | 取締役(社外) | 取締役(社外) | 取締役 |
| 田中 雅康 | 新保 誠一 | 佐伯 一郎 | 大久保 尚登 |
| 常勤監査役(社外) | 常勤監査役(社外) | 監査役 | 監査役(社外) |
| 杜塚 裕二 | 小島 久昌 | 中島 聡 | 徳田 省三 |
| 常務執行役員 | 常務執行役員 | 執行役員 | 執行役員 |
| 豊島 正徳 | 松塚 啓一 | 鶴岡 敏幸 | 小田部 宏一 |
| 執行役員 | 執行役員 | 執行役員 | 執行役員 |
| 松澤 直浩 | 関口 一郎 | 内海 達朗 | 三橋 優憲 |
| 執行役員 | 執行役員 | | |
| 普世 肅久 | 若松 京介 | | |

※ 新保誠一氏、佐伯一郎氏、杜塚裕二氏、徳田省三氏は東京証券取引所が定める独立役員として届出を行っております。

■ 株式総数及び株主数

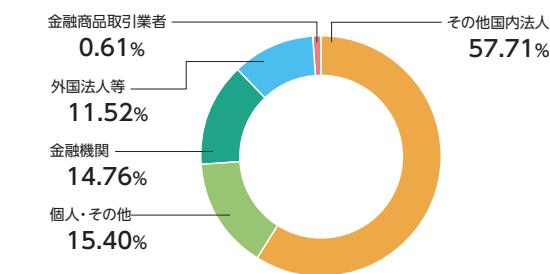
| | |
|----------|---------------|
| 発行可能株式総数 | 387,250,000 株 |
| 発行済株式の総数 | 116,881,106 株 |
| 株主総数 | 7,283 名 |
| 1単元の株式数 | 100 株 |

■ 大株主の状況

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|----------------------------|-------------|-------------|
| 伊藤忠商事株式会社 | 60,977 | 53.97 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 4,474 | 3.96 |
| GOVERNMENT OF NORWAY | 3,415 | 3.02 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,384 | 3.00 |
| エネクスファンド | 2,995 | 2.65 |
| JXTGホールディングス株式会社 | 2,009 | 1.78 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 1,938 | 1.72 |
| シナネンホールディングス株式会社 | 1,570 | 1.39 |
| 日本生命保険相互会社 | 1,542 | 1.36 |
| 伊藤忠エネクス従業員持株会 | 1,220 | 1.08 |

※ 持株比率は自己名義株式(3,893千株)を控除して計算しております。

■ 株式の所有者別状況



※ 自己名義株式3,893千株は、個人・その他に含めております。
※ 単元未満株56,506株を除外しております。

配当金のお受け取りについて

中間配当金領収証による配当金の払渡期間は2017年12月4日から2018年1月15日までとなっております。
口座振込をご指定されていない株主様は、同封の中間配当金領収証をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局(銀行代理業者)にてお早めにお受け取り願います。

お受け取り期間が過ぎたら・・・

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行、郵便局でのお受け取りはできません。中間配当金領収証の表面の受領印欄にご押印のうえ、三井住友信託銀行の本支店の窓口でお受け取りになるか、中間配当金領収証の裏面記載の送金方法欄に必要事項をご記入のうえ、三井住友信託銀行証券代行部までご連絡ください。

配当金領収証を紛失されたら・・・

三井住友信託銀行証券代行部までご連絡ください。その際には、お支払の手續きに時間を要しますので予めご了承ください。

銀行振込などのご指定をおすすめします

配当金領収証による配当金のお受け取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な銀行振込などによるお受け取りをおすすめいたします。

■ 株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先

特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社
☎0120-782-031
通話料無料／平日午前9時～午後5時

株主メモ

| | |
|------------------------|---|
| ■ 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| ■ 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| ■ 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、予め公告して定めた日 |
| ■ 公告の方法 | 当社のホームページに掲載します http://www.itcenex.com (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載して行います) |
| ■ 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| ■ 株主名簿管理人事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵便物送付先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-782-031(平日午前9時～午後5時) |
| (インターネットホームページURL) | http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |
| ■ 上場証券取引所 | 東京(銘柄名 エネクス、証券コード 8133) |

この株主通信に記載されている伊藤忠エネクスの業績見通しなど、将来に関する情報は、現段階における各種情報に基づいて当社の経営陣が判断したものであり、実績は、為替レート、市場動向、経済情勢などの変動により、かかる情報と大きく異なる可能性があることを予めご承知おきください。

この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



でんき!

eコトでんき!

伊藤忠エネクスグループがご提供する「eコトでんき!」
皆さまの街や暮らしにいろいろな「eコト」をお届けしたい。そんな思いを形にしました。

e=enex e=electricity e=energy e=ecology
e=いいこといっぱい広がる



社会とくらしのパートナー

伊藤忠エネクス株式会社

〒105-8430 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 TEL 03-6327-8000 (代表)

この機会に是非、電力会社の切り替えをご検討ください。
お得な「eコトでんき!」に関するお問い合わせは、
ホームライフ部門 統括部 リテール・マーケティング課
TEL 03-6327-8045 まで。

eコトでんき! 🔍 で検索

https://www.enexhl.jp/e_koto/